

中央校 コミュニティ・スクール通信

東原庫舎中央校 学校運営協議会

○職場体験(8年生)

多久市内の23事業所の方々のご協力により8年生が職場体験を行いました。働くことの大変さを味わうと同時に、様々な人との出会いでやりがいや達成感を感じ取ったようです。事業所さんからの事後アンケートには、一所懸命に楽しく働く姿を見て、数多くのお褒めの言葉をいただきました。よく頑張ったと思います。緊張もあったことでしょうか、あいさつの声の大きさ、積極的な態度にはもうひとつのところもありました。この経験を今後の学校生活、そして社会に出たときに活かしてほしいものです。また、お互いに情報共有をしながら、自分はどんな職に就きたいかをじっくり考えるよい機会になりました。



○リコーダーの授業(3、4年生)

音楽の時間に峯先生(教育委員さん)によるリコーダーの授業がありました。大きなものから、手のひらサイズの小さなものまで、様々な大きさのリコーダーの音色を聞かせてもらいました。サイズと指使いの秘密も教えてもらいました。



○稲刈り体験(4年生)

6月に植えたお米の稲刈り体験がありました。初めて稲を刈る子どもも多く、生き生きと取り組むことができました。JAの方々「稲刈り体験を通して、お米を作る大変さや食べ物を大切にする気持ちをもってほしい」とおっしゃっていました。この体験を通して、少しでも食べ物を大切にしようという気持ちをはぐくんでほしいと思います。12月に精米したお米をいただきました。



○町たんけん(2年生)

気持ちのよい秋晴れの中、生活科の学習で町たんけんに行きました。

警察署ではパトカーに乗ったり、道具を触らせてもらったりして、子ども達は嬉しそうでした。また、市役所のグループは4階から地下1階まで見て回り、たくさんの部屋があることや食堂があることに驚いていました。

町たんけん で分かったことをグループでまとめ、クラスの前で発表しました。



○小高連携 多久高校で高校生との交流(5年生)

小高連携事業で多久高校に行き、高校生と交流しました。人文科学をはじめ、福祉・商業・工業など、多久高校ならではの専門科目を体験することができ、子どもたちは約2時間充実した時間を送ることができました。また、高校生が子どもたち一人ひとりに優しく丁寧に関わってくれ、どの教室でも楽しそうに会話をしながら活動をしている様子が印象的でした。



○国スポ SAGA2024への取組(全校児童生徒)

多久弓道場で行われる国スポに向けて、生徒会を中心に清掃活動やリモートでの応援を行いました。まずは多久市を訪れる方のために、9月30日に会場周辺の草取りやゴミ拾い、清掃活動を5~9年生の児童生徒全員で行いました。それぞれがおもてなしの心をもって、一生懸命に取り組みました。また、10月7日の国スポ当日には、全校児童生徒で弓道の試合をリモートで観戦し、声援を送りました。矢が的に当たると歓声が上がっていました。

